

平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月13日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東
 コード番号 3904 URL http://www.kayac.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤川 綱司 (TEL) 0467-61-3399
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績 (平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	2,608	37.7	244	197.9	240	201.9	153	207.3
26年12月期第3四半期	1,894	—	82	—	79	—	50	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年12月期第3四半期	20.49		19.99					
26年12月期第3四半期	7.68		—					

- (注) 1. 当社は第3四半期の業績開示を平成26年12月期より行っているため、平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 平成26年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	2,407	—	1,553	—	64.6	—
26年12月期	2,352	—	1,338	—	56.9	—

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 1,553百万円 26年12月期 1,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,705	27.9	370	86.6	369	102.0	236	99.8	31.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	7,514,000株	26年12月期	7,514,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	—株	26年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	7,514,000株	26年12月期3Q	6,525,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、政府及び日銀による経済政策・金融緩和政策等を背景として企業収益や雇用情勢の改善がみられるなど、全体として緩やかな回復基調となりました。

当社を取り巻く事業環境としまして、平成26年12月末のスマートフォン保有率は64.2%と過半数を超えるまで拡大しており、インターネット環境は発展を続けております(出所：総務省「平成27年版 情報通信白書」)。インターネット広告市場につきましても、平成26年の市場規模は前年比12.1%増の1兆519億円と順調に拡大しております(出所：電通「2014年 日本の広告」)。また、ソーシャルゲームの市場規模は、平成26年度は6,584億円、平成27年度には7,462億円と、市場の拡大が続いております(出所：株式会社CyberZ及び株式会社シード・プランニングの共同調査情報)。

このような事業環境の中で、当社は良質なデジタルコンテンツをより多くのユーザーに楽しんでもらえるよう提供し続けております。その中でも受託サービスであるクライアントワーク、自社サービスであるソーシャルゲーム及び「Lobi」の3つを主要サービスと位置づけ注力し、相互にシナジーを図りながら事業を進めております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,608,208千円(前年同四半期比37.7%増)、営業利益は244,327千円(同197.9%増)、経常利益は240,498千円(同201.9%増)、四半期純利益は153,927千円(同207.3%増)となりました。

当社の事業セグメントは単一セグメントであります。取扱いサービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件の増加がみられております。そのような中で、積極的に業務提携を進めるとともに、ハイブリッド黒板アプリ「Kocri(コクリ)」に代表されるような新しい取り組みを行うことで事業領域の拡大を図っております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、848,407千円(前年同四半期比0.1%減)となりました。

② ソーシャルゲーム

平成26年9月に「ぼくらの甲子園！」シリーズの最新作となる「ぼくらの甲子園!ポケット」の配信を開始し、順調に推移しております。「共闘スポーツRPG」を軸にしたタイトルを展開しており、当第3四半期会計期間に新たに「ポケットフットボーラー」の配信を開始いたしました。この結果、ソーシャルゲーム関連の売上高は、1,441,567千円(前年同四半期比102.3%増)となりました。

③ Lobi

「Lobi」というスマートフォンゲームに特化したコミュニティ事業を進めております。プレイ動画の録画機能をはじめとした機能の拡充に努めるとともに、ビッグタイトルを中心に「Lobi」と連携するタイトル数を積極的に増加させる中でユーザー数の拡大を図っております。この結果、Lobi関連の売上高は、250,425千円(前年同四半期比142.1%増)となりました。

④ その他サービス

当第3四半期累計期間において、事業譲受後初となるJAGMOによる公演「伝説の戦闘組曲」を開催いたしました。また、新規サービスの開発を行うとともにその他サービスも安定的な運営ができております。この結果、その他サービス関連の売上高は、67,807千円(前年同四半期比70.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ54,351千円増加し、2,407,088千円となりました。主な要因は、投資有価証券の時価評価に伴う増加83,862千円であります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ161,020千円減少し、853,162千円となりました。主な要因は、借入金の返済による長期借入金の減少120,897千円であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ215,372千円増加し、1,553,925千円となりました。主な要因は、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加153,927千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成27年2月12日公表の「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195,898	1,143,443
受取手形及び売掛金	639,727	591,112
仕掛品	6,760	33,999
その他	71,589	88,995
貸倒引当金	△5,751	△5,906
流動資産合計	1,908,224	1,851,644
固定資産		
有形固定資産	91,193	93,251
無形固定資産	13,679	39,988
投資その他の資産		
投資有価証券	186,704	270,566
その他	152,934	151,638
投資その他の資産合計	339,639	422,204
固定資産合計	444,512	555,444
資産合計	2,352,736	2,407,088
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,471	103,808
短期借入金	50,000	50,000
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	161,196	161,196
未払金	151,399	173,942
未払費用	106,957	101,737
未払法人税等	80,855	59,342
その他	94,700	60,355
流動負債合計	754,580	710,381
固定負債		
長期借入金	213,946	93,049
その他	45,656	49,731
固定負債合計	259,602	142,780
負債合計	1,014,183	853,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	489,766	489,766
資本剰余金	429,766	429,766
利益剰余金	327,276	481,203
株主資本合計	1,246,809	1,400,736
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	91,744	153,189
評価・換算差額等合計	91,744	153,189
純資産合計	1,338,553	1,553,925
負債純資産合計	2,352,736	2,407,088

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,894,068	2,608,208
売上原価	1,274,103	1,621,689
売上総利益	619,965	986,519
販売費及び一般管理費	537,935	742,191
営業利益	82,029	244,327
営業外収益		
受取利息	128	162
受取配当金	924	1,193
為替差益	472	—
その他	702	973
営業外収益合計	2,228	2,328
営業外費用		
支払利息	4,391	2,881
為替差損	—	3,256
その他	211	18
営業外費用合計	4,603	6,157
経常利益	79,655	240,498
税引前四半期純利益	79,655	240,498
法人税、住民税及び事業税	39,958	100,496
法人税等調整額	△10,394	△13,924
法人税等合計	29,564	86,571
四半期純利益	50,091	153,927

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。